

## 【長野 文憲氏 プロフィール】

1947年佐世保で生まれた文憲は、小学校4年(10歳)で長崎浦上地区に転居。ある日、迷って登った丘の上の12年間手つかずの瓦礫の浦上天主堂の光景に衝撃を受ける。その後、高校卒業まで、日々の生活の中でアンジェラスの鐘を聞いて育つ。1968年、広島に移る。

・被爆50周年の1995年6月、主宰するヒロシマ・ギター・アミーゴスの仲間でチャリティーコンサート『被爆50周年によせて』(広島市東区民文化センター)を開催、被爆者の支援に役立てて欲しいと収益金を広島市へ寄附

・同年9月27日東区主催“今50年、復興から未来へ”市長とともに施設見学会”で新設の広島市立大学において、『長野文憲 サロンコンサート』。カザルスが国連で演奏したスペイン民謡「鳥の歌」、映画「禁じられた遊び」、ムスタキの「ヒロシマ」等演奏。

・1997年7月5日広島市『平和文化市民講座「わたしと広島 - 原爆詩朗読 - 』』(広島市平和記念資料館メモリアルホール)で吉永 小百合の原爆詩朗読のバックをつとめる

・同年、テレビ新広島のTV番組「アートな世界」の委嘱作品として、広島市現代美術館所蔵の原爆関連作品、千崎 千恵夫「地平線1945」(彫刻)と草間彌生「よみがえる魂」(絵画)の印象をもとに作曲。作品「地平線1945」からアンジェラスの鐘とヒロシマの寺院の鐘の、また「よみがえる魂」から希望のインスピレーションを得る。「オラシオン」の原形となる

・1999年8月、広島の世界音楽祭 ”オーガスト・イン・ヒロシマ”で「オラシオン～祈り」初演

・2001年12月、長崎市永井隆記念館館長 永井 徳三郎氏に「オラシオン～祈り」贈呈

・被爆60周年の2005年7月30日、ハービー・ハンコック等出演の「世界青年平和音楽祭」(広島市中央公園)において島田 歌穂の朗読と共に、再び希望と勇気の鐘を人々の心の中に鳴らしたいとの思いを1万人以上の聴衆に伝える

・2006年7月24日、広島・世界平和記念聖堂においてHiroshima Voices のメンバーとしてPeace Charity Concertに参加

・同年8月6日(現地 5日)、ニューヨーク・リバーサイドチャーチ ‘UNIVERSAL PEACE DAY’で演奏。大きな反響を得る

・2007年8月6日、再びニューヨーク ‘UNIVERSAL PEACE DAY’のオファーを受け出演。セントラルパーク&リバーサイドチャーチで演奏

・同年10月25日、NY国連本部より招かれ、虫プロアニメ「NAGASAKI1945 アンゼラスの鐘」上映会セレモニーで演奏

・同年12月28日、NHK長崎「年末ハイライト2007」ゲスト出演。浦上天主堂の被爆マリア像チャペルより中継、「オラシオン～祈り」を生演奏し大きな反響を得る

・2008年7月15日、長崎原爆病院慰問「長野 文憲ピースコンサート～国連演奏を終えて」開催

・2008年7月23日、広島原爆病院慰問「長野 文憲ピースコンサート～国連演奏を終えて」開催

・2009年2月2日、永井 隆 生誕100年記念「BunKen(長野文憲)ギターコンサート」出演(長崎原爆資料館ホール)

(以上、長野氏のホームページ:★ オリジナル「オラシオン～祈り」-希望と勇気-より引用)

<http://www.bunken-nagano.com/>

★最新ギターソロアルバム「千の風になって」好評発売中★ コロムビアミュージックエンターテインメント  
‘プラチナ世代の応援歌’元気の出るお薦めの1枚！ COCW-34353 2,800円(税込)

永遠の名曲を、優しく美しいギターの調べで…



